

とは、悔しいというより、「不思議」というキーワードが頭をよぎり、言語障がいがある自分のもどかしさと、「心のバリアフリー」という言葉が、世間にはまだ浸透していない事が本当に残念です。

台東区日本堤に出来た「田中スポーツプラザ」で、令和5年度CILたいとうで、ボッチャ大会をやりました。大会自体盛り上がり、秋の休日の、楽しいひと時でした。

廃校になった小学校を、多目的施設としてよみがえらせ、町の新たな、名所となりそうな「田中スポーツプラザ」。自立生活センターたいとうで使用した部屋は、小体育室でしたが、体育館や、グラウンド、集会場など使用できます。コロナも収束しそうなり、そういった多機能施設で、汗を流したりするのも気持ちがいい。遠くの娯楽施設や、ゲームセンターで遊ぶのも良いですが、田中スポーツプラザで休日を過ごすのも良いですね！



私はあんまり興味がないのですが、メジャーリーグに入って大谷翔平の活躍は、二刀流の自慢の力で、日本とアメリカのファンの期待を、裏切らない。しかし大谷自身が信用していた、通訳者の裏切りは、怒りという感情もある上、悲しさを感じられたのではないかなと思います。こんなのは、ただの私自身の思いかもしれませんが、人に裏切られたとき、一時的には悔しさや、悲しさがこみあげてくることもあるでしょう。しかしそんな時その苦しみをバネにして、自分の人生を、歩いていくのが、本当の意味での自立した、人生だと思うのですが。



**私の新聞にご賛同、応援して頂ける方はご寄付金 1,000 円(年間1回程度)を長澤まで宜しくお願い致します。**

また、特定非営利活動法人自立生活センターたいとうの活動にご賛同いただける方、賛助会員としてご支援をお願いしております。

正会員	年会費	5,000円
賛助会員	年会費 個人会員一口	3,000円
団体会員	一口	10,000円